

**The Joint Meeting of the 40th Annual Meeting of the Japanese Society for
Connective Tissue Research & the 55th Annual Meeting of the Japan Matrix Club**

第40回日本結合組織学会学術大会
第55回マトリックス研究会大会
合同学術集会

基礎研究と臨床研究の融合がもたらすものに期待して

会 期：2008年5月29(木)、30(金)、31(土)

会 場：こまばエミナース
〒153-0044 東京都目黒区大橋2-19-5
Tel: 03-3485-1414

大会長：伊東 晃（東京薬科大学薬学部生化学・分子生物学教室 教授）
野水基義（東京薬科大学薬学部病態生化学教室 教授）

ご挨拶

第40回日本結合組織学会学術大会・第55回マトリックス研究会大会 合同学術集会の開催にあたって

— 基礎研究と臨床研究の融合がもたらすものに期待して —

大会長：伊東 晃（東京薬科大学薬学部生化学・分子生物学教室 教授）
野水基義（東京薬科大学薬学部病態生化学教室 教授）

日本結合組織学会およびマトリックス研究会は、2008年度開催の各学会を「第40回日本結合組織学会・第55回マトリックス研究会合同学術集会」として共同開催します。07年度から2年続けての共催となりますが、学術的に緊密な関係にある両学会では共催によるメリットが多く、各学会会員の皆様にとって意義深い学術大会になるものと確信しております。

コラーゲン、ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸といった言葉が巷にあふれる今日を両学会の発足当初、誰が予想したでしょうか。健康志向のブームに乗ってこれらの言葉は日常生活にとけ込み、私たちの周りを飛び交っています。時折、首を傾げたくするような情報がまことしやかに流されているのを見ておりますと、一般の方々が情報の正誤を見分けることの難しさを痛感します。正しい情報を積極的に社会へ発信する必要性を強く感じるとともに、それを担うのが日本結合組織学会およびマトリックス研究会であるとも考えております。

細胞外マトリックスの可溶化が困難であった時代には、不溶性の細胞外マトリックスは単に細胞間の充填物質であるとされてきました。しかし、今日では細胞外マトリックス成分が発生・分化・形態形成・情報伝達などといった生命現象そのものに深く関わっているという共通認識に至っております。さらに、関節リウマチ、変形性関節症、ガンの浸潤・転移、組織線維症など多くの疾患が結合組織の代謝異常に起因するものであることが次々と明らかにされ、これら難治性疾患の根本的治療法確立に結合組織研究が必須であることが認知されています。このような成果は遺伝子・分子レベルの研究によるところが大であることには間違いありません。反面、今日の研究は余りに微細となり、組織あるいは個体レベルからの考察が少なくなっているように思われます。学会発表も基礎研究が多数を占め、医療への実質的貢献にどのように繋がっていくのかが分かりにくくなっているとの声も耳にします。

本合同学術集会では、結合組織に関する基礎・臨床両分野の研究者が一堂に会し、お互いの研究成果を垣根なく議論することによって両者の融合を少しでも計りたいと考えております。両学会は、これまで気楽にディスカッションできる場であることを特徴としてきました。今回も各学会の単独開催時と同様に議論を尽くし、ご参加頂いた先生方の研究進展に役立つことができるよう念じております。

なお、日本結合組織学会では学術大会40周年を記念して、学会本部主催による記念シンポジウムを計画しております。基礎と臨床の融合を目指した結合組織および細胞外マトリックスに関する研究について、知見を新たにすることができるものと期待しております。

本合同学術集会が「これからの結合組織・細胞外マトリックス研究のさらなる発展」と「細胞外マトリックスの正しい認識を社会に発信する」ことに繋がりますようお願いしております。そのためにも各学会会員の積極的なご参加を切にお願い申し上げます。

協賛企業リスト



謝 辞

第40回日本結合組織学会学術大会・第55回マトリックス研究会大会合同学術集会を開催するにあたり、下記の個人並びに企業より多大なご支援・ご協力を賜りました。ここに心より御礼申し上げます。

ランチョンセミナー協賛

参天製薬 株式会社

ゼリア新薬工業 株式会社

協 賛

尾崎理科 株式会社

株式会社 カネボウ化粧品

関東化学 株式会社

キリンファーマ 株式会社

株式会社 資生堂

大正製薬 株式会社

株式会社 高 長

東京薬科大学薬学部

株式会社 ニッピバイオマトリックス研究所

日本クリエート 株式会社

株式会社 日本点眼薬研究所

東邦大学名誉教授・第32回日本結合組織学会学術大会会長 平川 舜

水谷糖質科学振興財団

株式会社 ヤクルト本社

Chondrex, Inc.

広告掲載

株式会社 アオテアロア

興 和 株式会社

生化学工業 株式会社

大正製薬 株式会社

東京薬科大学

株式会社 ニッピバイオマトリックス研究所

株式会社 ビー・エム・エル

展 示

日本ミリポア 株式会社

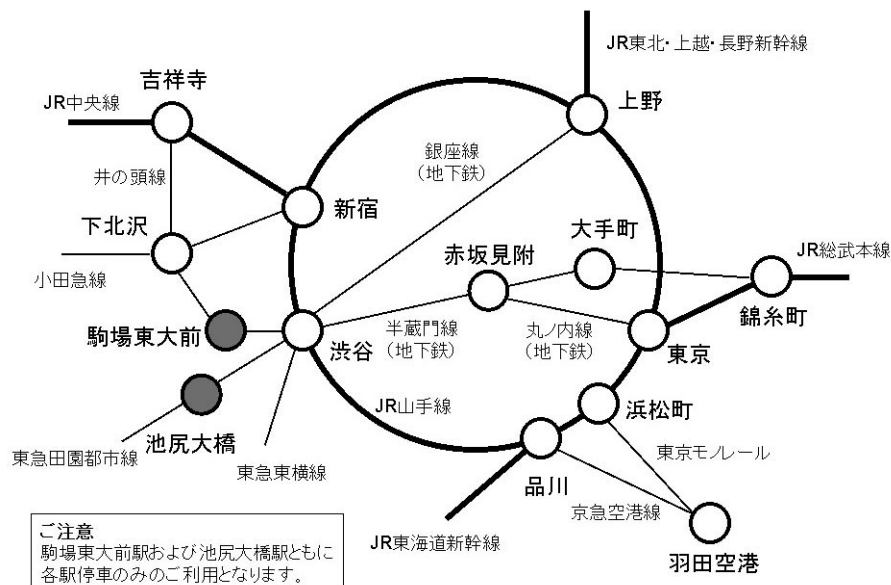
PHARMANEX（ファーマネックス）

平成20年4月21日現在（敬称略、50音順）

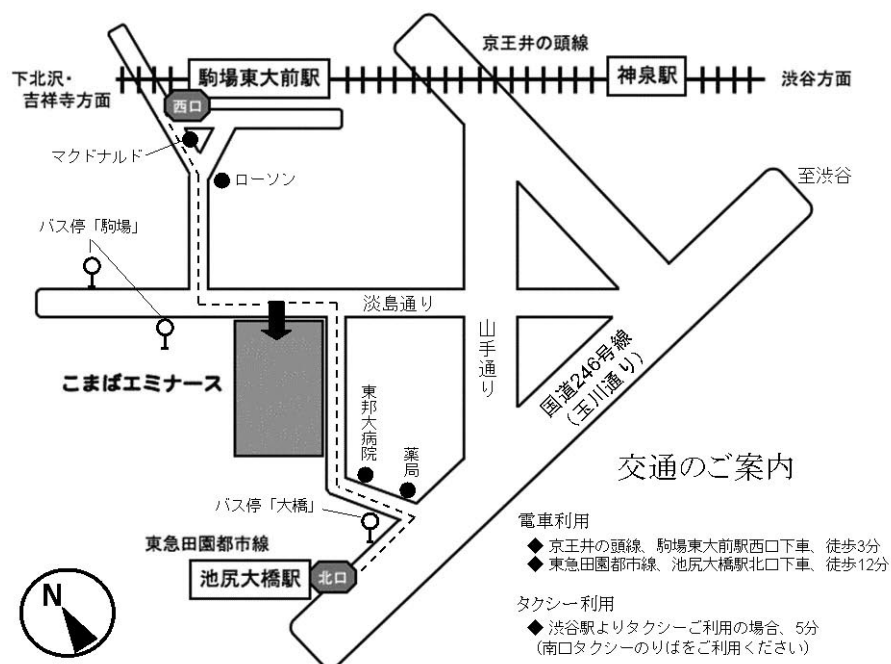
交通案内図

1. 都内各駅からのアクセス

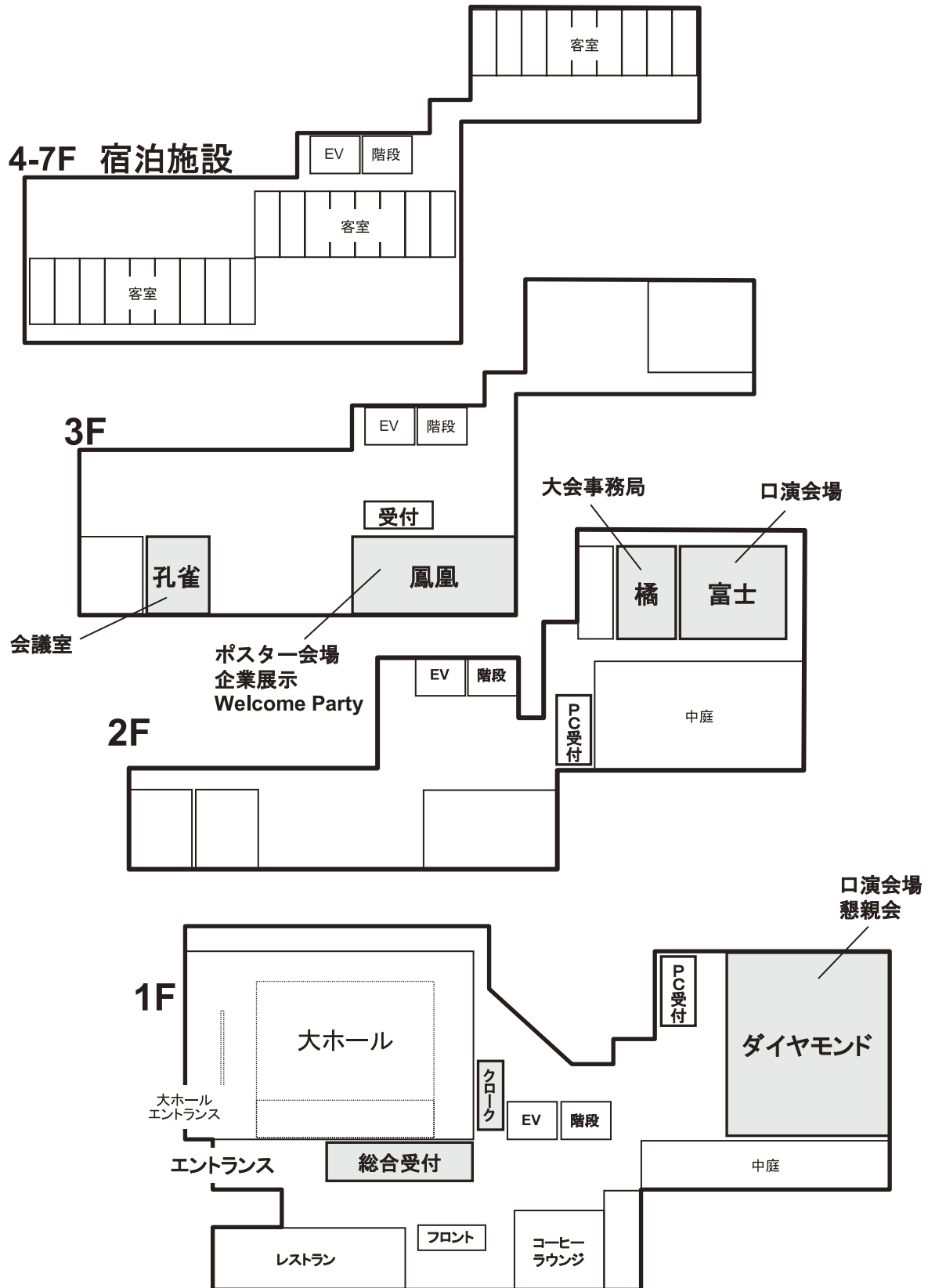
- ◆ 京王井の頭線渋谷駅より2駅 所要3分
- ◆ 東急田園都市線渋谷駅より1駅 所要2分
- ◆ 会場には駐車スペースがほとんどありません。お車でのお越しはご遠慮下さい。



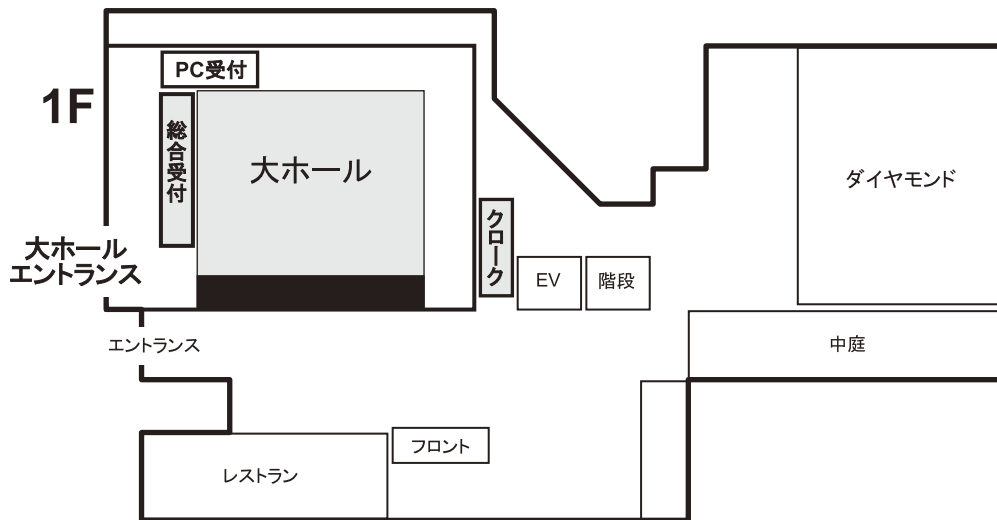
2. 最寄り駅からのアクセス



こまばエミナース会場図 5月29日(木)・30日(金)



こまばエミナース会場図 5月31日(土)



◆各会場のスケジュール

- | | | |
|----|--------|---|
| 1F | ダイヤモンド | 口演会場 (2日目)、懇親会会場 (2日目) |
| 1F | 大ホール | 口演会場 (3日目) |
| 2F | 富士 | 口演会場 (1、2日目) |
| 2F | 橘 | 本部 (1～3日目)、ワイヤレスインターネットスペース (1～3日目) |
| 3F | 鳳凰 | ポスター会場・企業展示 (1、2日目)、Welcome Party(軽食)会場 (1日目) |
| 3F | 孔雀 | 日本結合組織学会評議委員会、編集委員会 (2日目) |

◆その他

- ◆ 2F「橘」では本部と併設してワイヤレスインターネットが利用可能なスペースを用意しております。PCをご持参いただければ、インターネットをご利用いただけます。
- ◆ クロークは3日間を通して同じ場所です。
- ◆ ホテルと大ホールの入り口は異なりますのでご注意ください。

合同学術集会 お知らせ

◆参加者へのお知らせ

1. 会期

2008年5月29日(木)～31日(土)

2. 参加登録

学会当日のみの受付と致します。受付時間および参加費は以下の通りです。所定の金額をお支払いの上、ネームカード(領収書)をお受け取りになり、氏名・所属をご記入の上、着用してご入場ください。

受付時間

5月29日(木) 11:00～19:00

5月30日(金) 8:15～17:00

5月31日(土) 8:15～15:00

参加費

正会員 8,000円

非会員 16,000円

企業の参加者 20,000円

学生会員 5,000円(受付時、学生証をご提示下さい。)

3. 懇親会・Welcome Party

懇親会、Welcome Party(軽食)は無料となっております。ご自由にご参加ください。

Welcome Party: 5月29日(木) こまばエミナース 鳳凰(3階) 19:00～21:00

懇親会: 5月30日(金) こまばエミナース ダイヤモンド(1階) 18:00～21:00

4. 学会会費

日本結合組織学会・マトリックス研究会の年会費未納の方は、受付に所定用紙をご用意しますので、ご記入の上、後日学会事務局までお送りください。なお、学術大会事務局と学会事務局は異なりますのでご注意ください。

日本結合組織学会・マトリックス研究会への入会を希望される方へ

入会ご希望の方は、学会事務局へ申し込み書類をお送り下さい。(当日は、会場内に書類を用意します。)

日本結合組織学会事務局

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

産業医科大学医学部生化学教室

TEL: 093-691-7236 FAX: 093-692-2777

URL: <http://www.jsctr.org/index.htm>

E-mail: info@jsctr.org

マトリックス研究会事務局

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82番地

神奈川歯科大学学生体機能学講座生化学・分子生物学内

TEL: 046-822-8840(内線2087) FAX: 046-822-8839

URL: <http://www.kdcnet.ac.jp/matrix/index.html>

E-mail: matrix@kdcnet.ac.jp

◆発表者へのお知らせ

1. 口演について

(一般演題、招待講演、ランチョンセミナー、シンポジウム、記念講演 すべてに共通)

◆ プレゼンテーション

発表はPCプレゼンテーション(WindowsまたはMacintosh)のみとします。PCは発表者各自でご用意いただき、開始1時間前までにPC受付にて動作確認をして下さりますようお願い致します。なお、VGA(D-sub 15ピン)での出力のみを受け付けますので、アダプター等が必要な場合は、お持ちくださりますようお願い申し上げます。

ー 学会側のPCをご利用希望の方 ー

以下の作成要領に従い発表データをご用意ください。発表データをCD-RもしくはUSB接続FLASHメモリにて、発表当日の該当セッションの開始1時間前までにPC受付にお持ちいただき、必ず動作確認を行ってください。なお、PowerPoint 2007およびWindows Vista搭載PCで作成したPowerPointファイルについては、動作保証しかねます。

【学会側PCをご利用希望者のスライド作成要領】

- 1) 発表データは、Microsoft PowerPoint 2003 (Windows XP) で作成してください (Macintosh版は不可)。
- 2) フォントについては、標準で装備されているもの (MS明朝、MSゴシック、MS P明朝、MS Pゴシック等) を使用してください。
- 3) 動画・音声の使用はできません。

◆ 発表

- 1) 一般演題の発表は8分、質疑応答は4分です。
- 2) 終了1分前と終了時にベルでお知らせします。学会の進行上、時間厳守でお願いします。
- 3) シンポジウムに関しては、座長の指示に従ってください。
- 4) 前の発表が始まりましたら、次演者席にすみやかにご着席ください。

2. ポスター展示について

- 1) ポスター展示は鳳凰(3階)にて行います。
- 2) 掲示時間は、第1日目(5月29日)15:00から、第2日目(5月30日)18:00までと致します。
- 3) ポスター討論は第2日目17:00~18:00に行います。座長は特に設けませんが、討論時間には発表者は必ずポスターの前にお立ち下さい。事前にリボンをお渡ししますので、討論時間にお付け下さい。
- 4) ポスターサイズは、タイトルを含め縦120cm×横180cmとします。演題番号の表示は、主催者側で致します。
- 5) ポスター展示は、日本語、英語のどちらでも結構です。
- 6) ポスターは、ポスター討論終了後に撤去ください(20:00までをお願いします)。

学術大会スケジュール

5月29日(木)				
時刻	富士(2F)	孔雀(3F)	鳳凰(3F)	ダイヤモンド(1F)
10	10:00-11:00 マトリックス研究会 運営委員会			
11	11:00-12:00 日本結合組織学会 理事・監事会			
12	12:00-12:40 合同委員会(昼食)			
	開会の辞			
13	13:00-14:46 エラスチン			
14	増殖因子 A1~A8			
15	15:00-16:46 プロテオグリカン		15:00-18:00 ポスター P1~P35	
16	炎症・線維化・癌 A9~A16			
17	17:00-19:00 シンポジウム1		企業展示	
18	S1~S6			
19			19:00-21:00	
20			Welcome Party(軽食)	
21				

5月30日(金)				
時刻	富士(2F)	孔雀(3F)	鳳凰(3F)	ダイヤモンド(1F)
9	9:00-11:36 ECM・その他 A17~A29		9:00-17:00 ポスター P1~P35 企業展示	
10				9:30-11:30 シンポジウム2 S7~S11
11				
12				11:50-12:40 ランチョンセミナー1 (戸井田敏彦先生、協賛：ゼリア新薬工業株式会社)
13	12:50-14:26 皮膚 A30~A37			12:50-14:10 シンポジウム3 S12~S15
14				
15	14:40-16:52 骨・関節・軟骨 A38~A48			14:20-16:08 コラーゲン1 A49~A57
16				
17		17:00-17:30 評議委員会 17:30-18:00 編集委員会	17:00-18:00 ポスター セッション	
18			ポスター撤去	18:00-21:00 懇親会
19				
20				

5月31日(土)	
時刻	大ホール(大ホール棟)
9	9:00-9:48 コラーゲン2 A58～A61
10	10:00-11:20
11	特別招待講演 (Dr. Nagase, Dr. Yamada)
12	11:30-12:20 ランチョンセミナー2 (後藤 眞先生、協賛：参天製薬株式会社)
13	12:30-12:45 マトリックス研究会総会・Young Investigator 賞表彰
	12:45-13:10 日本結合組織学会総会・大高賞表彰・名誉会員表彰
	13:10-13:50 大高賞受賞講演
14	14:00-16:00
15	日本結合組織学会40周年記念シンポジウム
16	閉会式・次期大会長挨拶

各種会合スケジュール

1. マトリックス研究会運営委員会

2008年5月29日（木） 10：00 ～ 11：00
こまばエミナース 2階 富士

2. 日本結合組織学会理事・監事会

2008年5月29日（木） 11：00 ～ 12：00
こまばエミナース 2階 富士

3. 合同委員会（昼食）

2008年5月29日（木） 12：00 ～ 12：40
こまばエミナース 2階 富士

4. Welcome Party（軽食）

2008年5月29日（木） 19：00 ～ 21：00
こまばエミナース 3階 鳳凰

5. 日本結合組織学会評議委員会

2008年5月30日（金） 17：00 ～ 17：30
こまばエミナース 3階 孔雀

6. 日本結合組織学会編集委員会

2008年5月30日（金） 17：30 ～ 18：00
こまばエミナース 3階 孔雀

7. 懇親会

2008年5月30日（金） 18：00 ～ 21：00
こまばエミナース 1階 ダイヤモンド

8. 総会・表彰（合同）

2008年5月31日（土） 12：30 ～ 13：10
こまばエミナース 大ホール

9. 大高賞受賞講演

2008年5月31日（土） 13：10 ～ 13：50
こまばエミナース 大ホール



プログラム



Program

5月29日(木) 2F 富士

* 日本結合組織学会優秀賞応募演題

☆ Young Investigator Award 応募演題

◆ 開会の辞

12:50 ~ 13:00

◆ 一般演題

13:00 ~ 14:46

「エラスチン・増殖因子」

座長： 岡元孝二（九州工業大学大学院）

*A1 弾性線維形成における DANCE / fibulin-5 プロセッシングの役割

○堀口 真仁¹ 大林 徹也² 中邨 智之³

¹京都大学 医学研究科 循環器内科

²鳥取大学 生命機能研究支援センター 動物資源開発分野

³関西医科大学 薬理学講座

A2 トロポエラスチン沈着におけるリジロキシダーゼファミリーの機能解析

○村松 卓¹ 野中 里紗¹ 輪千 浩史¹ 瀬山 義幸¹

¹星薬科大学大学院 薬学研究科 医療薬科学専攻

A3 Fibrillin-1 繊維形成は Rho-ROCK signaling pathway の抑制により阻害される

○小川 達也¹ 野中 里紗¹ 輪千 浩史¹ 瀬山 義幸¹

¹星薬科大学大学院 薬学研究科 医療薬科学専攻

A4 THP-1 細胞の tropoelastin 分解に関する検討

○古賀 綾子¹ 野中 里紗¹ 小林 孝志² 輪千 浩史¹ 瀬山 義幸¹

¹星薬科大学大学院 薬学研究科 医療薬科学専攻

²防衛医科大学校皮膚科

座長： 服部俊治（株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所）

A5 コラーゲンゲル上での低酸素培養がヒトおよびハムスター胎児肺上皮細胞の神経内分泌細胞への分化を促進する

○高橋 勇二¹ 地田 義明¹ 加藤 由紀子¹ 古堅 裕¹ 井口 孝一¹ 高橋 滋¹

¹東京薬科大学 生命科学部 環境ゲノム学科

A6 肺扁平上皮癌細胞株 Calu-1 のコラーゲン上の遊走を惹起する持続的 ERK 活性：PP2A/B56 γ , B56 δ と IEX-1 の関与

○西村 好博¹ 島田 恵利¹ 河原 栄¹

¹金沢大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

☆A7 S1P によるヒト線維芽細胞ストレスファイバー形成には mDia を介する系が存在する

○周東 朋子¹ 安部 正敏¹ 石川 治¹

¹群馬大学大学院医学系研究科皮膚病態学

*A8 細胞外環境下で不溶性な立方体蛋白質結晶へのFGF-2のマイクロ固定化と細胞培養系の特異的空間制御

○開 祐司¹ 宿南 知佐¹ 西崎 有利子¹ 古山 明子² 野津 裕之² 森 肇²

¹京都大学再生医科学研究所

²京都工芸繊維大学昆虫バイオメディカル研究センター

◆ 休憩 14:46 ~ 15:00

◆ 一般演題 15:00 ~ 16:46

「プロテオグリカン・炎症・線維化・癌」

座長： 井上紳太郎（株式会社カネボウ化粧品 基盤技術研究所）

A9 パールカンによるマイオスタチンシグナル伝達の制御

○佐々木 隆子¹ Dorothe Spillmann² Zhuo Xu² 平澤 恵理³

¹Shriners Hospital for Children and Department of Biochemistry and Molecular Biology, Oregon Health & Science University

²Department of Medical Biochemistry and Microbiology, Uppsala University

³順天堂大学 医学部 神経学教室

A10 骨肉腫細胞の細胞外マトリックス形成はoligonucleotidesの細胞内導入効率に関与する

○鈴木 喜貴¹ 西田 佳弘¹ 成瀬 隆裕² 玄番 岳践³ 石黒 直樹¹

¹名古屋大学大学院医学系研究科整形外科

²名古屋共立病院整形外科

³アンジェス

A11 ビネキシン欠損細胞でのフィブロネクチン繊維化の亢進

○木岡 紀幸¹ 高橋 穂波¹ 竹上 慧¹ 曾我部 隆之¹ 植田 和光¹

¹京都大学農学研究科応用生命科学専攻

☆A12 マウス部分胆管結紮モデルの確立と抗線維化薬の薬効評価への応用

○茂呂 忠¹ 中尾 祥絵² 東山 礼一² 池田 一雄³ 岡崎 勲⁴ 稲垣 豊²

¹（株）ミノファージェン製薬 研究所

²東海大学 医学部 基盤診療学系 肝線維化ユニット

³大阪市立大学 器官構築形態学

⁴国際医療福祉大学 山王病院

座長： 伊藤義文（The Kennedy Institute of Rheumatology Division, Imperial College London）

*☆A13 悪性腫瘍細胞のインテグリン活性化によるプログラム細胞死誘導と抗がん剤感受性増強

○小松 美代子¹ 深井 文雄¹ 大脇 敏之¹

¹東京理科大学大学院 薬学研究科

A14 癌細胞の浸潤・転移に関わるADAM28の結合蛋白質及び新規基質の探索

○望月 早月¹ 副島 見事² 下田 将之¹ 岡田 保典¹

¹慶應義塾大学医学部病理学教室

²化学及血清療法研究所

*A15 EMMPRINを介して細胞表層に局在する間質プロコラゲナーゼ/proMMP-1の活性化とガン細胞浸潤能の促進

○塩野 智康¹ 今田 啓介¹ 佐藤 隆¹ Robert Visse² Hideaki Nagase² 伊東 晃¹

¹東京薬科大学薬学部, 生化学・分子生物学教室

²ロンドン大学ケネディーリウマチ研究所

A16 乳房外Paget病におけるリンパ行性転移機序：上皮－間葉転換とリンパ管新生に着目して

○平川 聡史¹ 永松 将吾¹ 松尾 恵太郎² 渡部 明香¹ 種村 篤³ 片山 一朗³ 橋本 公二¹

¹愛媛大学 医学部 感覚皮膚医学分野

²愛知がんセンター 疫学・予防部

³大阪大学 情報統合医学講座 皮膚科学教室

◆休憩

16:46 ~ 17:00

◆シンポジウム1

17:00 ~ 19:00

「組織を支える基底膜分子の機能解明と展望」

座長： 山田吉彦 (National Institute of Dental and Craniofacial Research, National Institutes of Health)
吉川大和 (東京薬科大学薬学部)

S1 ラミニン γ 2鎖N末端部位の癌の悪性増殖への関与

○小川 崇¹ 坪田 芳明¹ 宮崎 香¹

¹横浜国立大学 木原生物学研究所 細胞生物学部門

S2 ヒトラミニン511におけるインテグリン結合部位の探索

○李 紹良¹ 乗岡 尚子¹ 原田 謙司¹ 井戸 寛之¹ 中村 彩¹ 関口 清俊¹

¹大阪大学 蛋白質研究所

S3 肝前駆細胞の3次元培養を用いた胆管形態形成の分子メカニズムの解析

○谷水 直樹¹ Mostov Keith² 宮島 篤¹

¹東京大学分子細胞生物学研究所

²カリフォルニア大学サンフランシスコ校

S4 歯の形成過程におけるインテグリンと基底膜の相互作用

○福本 敏¹ 湯浅 健司² 福本 恵美子³ 山田 亜矢² 岩本 勉²

¹東北大学大学院 歯学研究科 小児発達歯科学分野

²九州大学大学院 歯学研究院 小児口腔医学分野

³長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔保健学分野

S5 神経筋におけるパールカンの多様な役割

○平澤 恵理¹ 許 卓¹ 二木 啓¹ 市川 直樹¹ 小崎 慶介² 山田 吉彦²

¹順天堂大学医学部医学科

²米国国立衛生研究所

S6 ラミニン α 3LG4由来のシンデカン結合ペプチドの PEP75 は角化細胞遊走と in vivo での創傷治癒を促進する

○宇谷 厚志¹ 荒木 絵里¹ 百田 豊² 都甲 武³ 野水 基義⁴ 宮地 良樹¹

¹京都大学大学院医学研究科皮膚生命科学講座

²岩手大学 農学部 小動物内科学講座

³京都大学大学院医学研究科形成外科

⁴東京薬科大学薬学部病態生化学教室

5月30日(金) 2F 富士

◆ 一般演題

9:00 ~ 11:36

「ECM・その他」

座長： 岡本 修（大分大学医学部）

A17 N-結合型糖鎖によるラミニン-332（ラミニン-5）の機能制御

○荻谷 慶喜¹ 加藤 里佳¹ 福田 友彦¹ 顧 建国¹

¹東北薬科大学 分子生体膜研究所 細胞制御学教室

☆A18 ラミニン α 2鎖LG4-5モジュールの生物活性部位の解明

○漆畑 俊哉¹ 鈴木 喜晴² 林 剛光¹ 保住 建太郎¹ 吉川 大和¹ 野水 基義¹

¹東京薬科大学 薬学部 病態生化学教室

²アメリカ国立衛生研究所

☆A19 ラミニン α 1鎖由来の合成ペプチドを用いたラット肝細胞の培養

○三輪 隆博¹ 松田 佑二¹ 高橋 直哉¹ 野水 基義¹ 吉川 大和¹

¹東京薬科大学 薬学部 病態生化学教室

☆A20 シンデカンを介した細胞接着とインテグリンを介した細胞接着

○小林 一樹¹ 保住 建太郎¹ 山縣 夏美¹ 小田切 大¹ 吉川 大和¹ 門谷 裕一² 野水 基義¹

¹東京薬科大学 薬学部 病態生化学教室

²北里大学 医学部 解剖学

座長： 門谷裕一（北里大学医学部）

A21 ペプチドファイバーを用いた人工細胞外マトリックスの設計

○平野 義明¹ 西下 直希¹

¹大阪工業大学 工学部 応用化学科

A22 細胞外マトリックス蛋白質デルマトポンチンは表皮細胞接着活性を持つ

○岡本 修¹ 藤原 作平¹ 住吉 秀明² 松尾 哲孝² 吉岡 秀克² 高橋 直哉³ 保住 建太郎³

野水 基義³

¹大分大学医学部生体分子構造機能制御講座（皮膚科）

²大分大学医学部生体分子構造機能制御講座（生化学）

³東京薬科大学薬学部病態生化学

A23 フィブロネクチン由来PHSRN合成ペプチドの角膜上皮伸長作用に対する配列特異性の検討

○服部 篤司¹ 保住 建太郎¹ 高知愛² 大見川 香代³ 加藤 隼太³ 石田 一海³ 星 範男³

野水 基義¹ 西田 輝夫²

¹東京薬科大学 薬学部 病態生化学

²山口大学大学院 医学系研究科 眼科学

³株式会社日本点眼薬研究所 研究開発本部

***A24 表皮角化細胞におけるヘミデスモゾームと接着斑 (focal contact) の相互作用**

○小澤 俊幸¹ 鶴田 大輔² 小林 裕美² 原田 輝一¹ 石井 正光²

¹大阪市立大学大学院医学研究科形成外科学

²大阪市立大学大学院医学研究科皮膚科学

座長： 荏谷慶喜（東北薬科大学分子生体膜研究所）

***☆A25 β 1インテグリン活性化による悪性腫瘍細胞のアポトーシス誘導とその分子機構の解明**

○江口 真由¹ 羽原 広¹ 大脇 敏之¹ 深井 文雄¹

¹東京理科大学大学院 薬学研究科 分子病態学研究室

***A26 VLA-4を介した強固なフィブロネクチン接着が造血器悪性腫瘍細胞のアポトーシスを引き起こす**

○大脇 敏之¹ 齋藤 陽平¹ 松永 卓也² 新津 洋司郎² 深井 文雄¹

¹東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科

²札幌医科大学 医学部 第四内科

***☆A27 オートファジー誘導に基づく細胞内寄生性細菌の殺滅に関する基礎的検討**

○千賀 芳寛¹ 島田 朋和¹ 雲越 俊介¹ 大脇 敏之¹ 深井 文雄¹

¹東京理科大学大学院 薬学研究科

***A28 *Qbrick* ノックアウトマウス基底膜におけるインテグリンリガンドの発現低下**

○浄住 大慈¹ 武市 真希子¹ 佐藤 祐哉¹ 上村 俊人¹ 高木 淳一² 関口 清俊¹

¹大阪大学 蛋白質研究所 細胞外マトリックス研究室

²大阪大学 蛋白質研究所 プロテオーム物質創製研究系

A29 新規遺伝子発現システムを用いた歯根膜成分の機能解析

○篠村 多摩之¹ 中村 さやか² 伊藤 和生³

¹東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科

²名古屋大学 医学部

³山形大学 医学部

◆ 一般演題

12:50 ～ 14:26

「皮膚」

座長： 宇谷厚志（京都大学医学部）

A30 皮膚創傷治癒過程をモデルとした組織線維化のメカニズムの解析

○住吉 秀明¹ 松尾 哲孝¹ 吉岡 秀克¹

¹大分大学医学部生体分子構造機能制御講座（旧生化学2）

☆A31 創傷治癒過程におけるTGF- β 活性の細胞外マトリックスによる制御機構

○水野 晃治¹ 米田 雅彦² 輪千 浩史¹ 瀬山 義幸¹ 藤井 聡³ 磯貝 善蔵⁴

¹星薬科大学薬学部

²愛知県立看護大学

³名古屋市立大学薬学部

⁴国立長寿医療センター

*☆A32 健常人および全身性強皮症ヒト線維芽細胞におけるCTGFサイレンシングの細胞外マトリックスへの効果

○石渕 裕久¹ 安部 正敏¹ 石川 治¹

¹群馬大学大学院医学系研究科皮膚病態学

A33 褥瘡創面におけるバーシカンの状態とその意味：マイクロファイブリルとヒアルロン酸をめぐる水のマトリクス

○村澤 裕介¹ 折居 千賀¹ 米田 雅彦² 渡辺 研¹ 篠村 多摩之³ 木全 弘治⁴ 磯貝 善蔵¹

¹国立長寿医療センター 先端医療部

²愛知県立看護大学

³東京医科歯科大学

⁴愛知医科大学

座長： 磯貝善蔵（国立長寿医療センター）

*A34 皮膚創傷におけるバーシカン発現：ケロイド発生病理との関連

○荒木 絵里¹ 内藤 素子² 宮地 良樹¹ 宇谷 厚志¹

¹京都大学医学部皮膚科

²京都大学医学部形成外科

☆A35 アディポネクチンはヒト皮膚線維芽細胞のヒアルロン酸合成を促進する

○赤澤 裕見子¹ 佐用 哲也¹ 杉山 義宣¹ 井上 紳太郎¹

¹株式会社カネボウ化粧品 基盤技術研究所

*A36 繊維芽細胞株におけるUVB感受性の違い

○田中 啓友¹ 桐山 智美¹ 小倉 孝之¹ 高橋 哲也² 服部 俊治¹ 入江 伸吉¹

¹（株）ニッピ バイオマトリックス研究所

²島根大学教育学部

*A37 偏光分解SHGイメージングによる真皮コラーゲンの光老化の解析

○小倉 有紀¹ 桑原 智裕¹ 松永 由紀子¹ 高橋 由² 安井 武史² 荒木 勉²

¹株式会社資生堂 ライフサイエンス研究センター

²大阪大学大学院 基礎工学研究科 機能創成専攻

◆ 休憩

14：26 ～ 14：40

「骨・関節・軟骨」

座長： 妻木範行（大阪大学医学部）

*A38 新しい軟骨基質結合ペプチドを用いた関節軟骨 in vivo 蛍光イメージング法の開発

○大橋 俊孝¹ 稲川 喜一¹ 西田 圭一郎¹ 美名口 順¹ Kursat Oguz Yaykasli¹ 二宮 善文¹

¹岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科

*A39 Bio Rapid Prototyping project:Scaffold free による細胞立体構造体の3D マイクロ パターニング

○中山 功一¹ 下戸 健² 上蘭 理恵² 松田 秀一¹ 三浦 裕正¹ 岩本 幸英¹

¹九州大学 医学部 整形外科

²JST イノベーションプラザ福岡

*A40 Tenomodulin 遺伝子の腱・靱帯特異的な転写制御領域の解析

○西崎 有利子¹ 杉本 由紀¹ 開 祐司¹ 宿南 知佐¹

¹京都大学再生医科学研究所 生体分子設計学分野

*A41 サイトカイン TNF- α による軟骨基質蛋白 Cd-rap 転写制御機序

○今村 寿宏¹ 宮原 寿明¹ 寺田 和正¹ Linda J. Sadel³ 岩本 幸英²

¹国立病院機構 九州医療センター整形外科

²九州大学整形外科

³ワシントン大学整形外科

座長： 大橋俊孝（岡山大学）

*A42 内軟骨性骨化における Smad7 の作用の解析

○岩井 貴男¹ 村井 純子¹ 吉川 秀樹¹ 妻木 範行²

¹大阪大学 医学部 整形外科

²大阪大学 医学部 骨軟骨形成制御学

*A43 人工関節周囲組織 PLFs の軟骨分化（特にマクロファージ産生の非蛋白成分に注目して）

○小坂 泰一¹ 山本 謙吾¹

¹東京医科大学整形外科

*A44 線維芽細胞増殖因子 (FGF)-2 の軟骨破壊における役割

○澤地 恭昇¹ Tonia Vincent¹ Shi-Lu Chia¹ Jeremy Saklatvala¹

¹ケネディ・リュウマチ研究所, インペリアル大学

座長： 望月早月（慶應義塾大学医学部）

A45 軟骨細胞特異的に TIMP3 および変異体 TIMP3 を発現させたトランスジェニックマウスでの関節破壊阻害

○中村 博幸¹ Phuong A. Vo² Ngee Han Lim¹ ke Liu³ Dominic J Wells³ George Bou-Gharios²
Hideaki Nagase¹

¹ Kennedy Institute of Rheumatology, Imperial College London

² Department of Medicine Faculty of Medicine, Imperial College of London

³ Department of Neuroscience, Imperial College of London

☆A46 マウス成長軟骨における ADAMTS-9 発現の検討

○熊岸 加苗¹ 西田 圭一郎¹ 百田 龍輔¹ 山合 友一朗² 広畑 聡³ Kadir Demircan³ 内藤 一郎¹
二宮 善文³ 大塚 愛二¹

¹ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 人体構成学

² 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔機能解剖学

³ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 分子医化学

☆A47 RECK 分子はヒト変形性関節症軟骨に発現し軟骨細胞の cloning に関わる

○木村 徳宏¹ 岡田 保典¹

¹ 慶應義塾大学医学部病理学教室

A48 ヒト関節軟骨における inter-alpha-trypsin inhibitor

○吉原 愛雄¹ Anna Plaas² 根本 孝一¹ John D Sandy³

¹ 防衛医科大学校 医学部 整形外科

² ラッシュ大学医療センター 生化学講座

³ ラッシュ大学医療センター 生化学講座

◆ ポスターセッション

17:00 ～ 18:00

会場：3F 鳳凰

5月30日(金) 1F ダイヤモンド

◆ シンポジウム2

9:30 ~ 11:30

「細胞インターフェイスにおける膜結合性機能分子」

座長： 鍋島一樹（福岡大学医学部）
佐藤 隆（東京薬科大学薬学部）

S7 皮膚バリア機能と表皮細胞の脂質輸送蛋白ABCA12

○秋山 真志¹

¹北海道大学 大学院医学研究科 皮膚科学分野

S8 着床制御に関わる機能分子

○橋爪 一善¹

¹岩手大学農学部基礎獣医学

S9 炎症性肺疾患における basigin / EMMPRIN の役割

○別役 智子¹

¹北海道大学病院

S10 ガン細胞の浸潤・転移促進に寄与する EMMPRIN / basigin の機能部位

○佐藤 隆¹ 今田 啓介¹ 伊東 晃¹

¹東京薬科大学薬学部 生化学・分子生物学教室

S11 細胞表面と核内に発現するヘパラナーゼ：それらの細胞浸潤と細胞分化における異なる役割

○中島 元夫¹

¹ジョンソン・エンド・ジョンソン ニュービジネス&テクノロジートランスファー

◆ 休憩

11:30 ~ 11:50

◆ ランcheonセミナー1

11:50 ~ 12:40

座長： 伊東 晃（東京薬科大学薬学部）

「コンドロイチン硫酸の新たな作用機序」

戸井田 敏彦（千葉大学大学院薬学研究院）
（協賛：ゼリア新薬工業株式会社）

◆ 休憩

12:40 ~ 12:50

◆ シンポジウム 3

12:50 ~ 14:10

「コンドロイチン硫酸の機能・応用研究の最前線」

座長： 渡辺秀人（愛知医科大学分子医科学研究所）
今田啓介（東京薬科大学薬学部）

S12 コンドロイチン硫酸：多様な糖鎖構造と生合成機構

○渡辺 秀人¹

¹愛知医科大学・分子医科学研究所

S13 遺伝子工学を利用したコンドロイチン硫酸の合成

○杉浦 信夫¹

¹愛知医科大学 分子医科学研究所

S14 コンドロイチン硫酸の関節保護作用機構

○今田 啓介¹ 佐藤 隆¹ 伊東 晃¹

¹東京薬科大学薬学部 生化学・分子生物学教室

S15 変形性膝関節症におけるコンドロイチン硫酸の効果

○野村 義宏¹ 村澤 知佳子¹ 渡部 睦人¹

¹東京農工大学農学部

◆ 休憩

14:10 ~ 14:20

◆ 一般演題

14:20 ~ 16:08

「コラーゲン1」

座長： 高橋勇二（東京薬科大学生命科学部）

A49 コラーゲン3重らせん上に存在するタンパク質結合配列の探索

○小杉 日登美¹ 浅田 真一¹ 北川 幸己¹ 小出 隆規²

¹新潟薬科大学 薬学部 薬品製造学

²早稲田大学 先進理工学部 化学・生命化学科

*☆A50 I型コラーゲン自己会合体の癌細胞増殖抑制効果

○佐々木 純¹ 藤崎 ひとみ¹ 安達 栄治郎² 服部 俊治¹ 入江 伸吉¹

¹株式会社ニッピバイオマトリックス研究所

²北里大学大学院 医療系研究科 分子形態科学

*A51 ショウジョウバエ XV/XVIII型コラーゲン, ICBM, は中枢神経で発現している

○百田 龍輔¹ 内藤 一郎² 二宮 善文³ 大塚 愛二¹

¹岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 人体構成学

²新見公立短期大学

³岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 分子医化学

A52 マウス皮膚における細胞外マトリックス遺伝子発現の成長に伴う変化

○工藤 千香子¹ 新井 浩司¹ 西山 敏夫¹

¹東京農工大学 農学部附属 硬蛋白質利用研究施設

A53 ビタミンC欠乏は皮膚のコラーゲン含量を減少させる

○新井 浩司¹ 工藤 千香子¹ 土屋 博之¹ 佐藤 安訓² 近藤 嘉高¹ 野村 義宏¹ 石神 昭人²

西山 敏夫¹

¹東京農工大学 農学部附属硬蛋白質利用研究施設

²東京都老人総合研究所 老化ゲノムバイオマーカー研究チーム

座長： 平川聡史（愛媛大学医学部）

A54 共培養による角膜実質細胞での Connexin43, N-cadherin 発現に対する角膜上皮細胞の作用

○高知愛¹ 柳井 亮二¹ 西田 輝夫¹

¹山口大学 医学部 眼科学

***☆A55 強皮症モデルマウスにおけるコラーゲンの性状解析**

○小倉 孝之¹ 田中 啓友¹ 蛭原 哲也¹ 服部 俊治¹ 中沢 正年² 南 陸彦² 入江 伸吉¹

¹株式会社ニッピバイオマトリックス研究所

²横浜市立大学大学院医学研究科免疫学

***A56 皮膚創傷治癒ならびに線維化過程における骨髄由来細胞のコラーゲン合成への関与**

○東山 礼一¹ 中尾 祥絵¹ 茂呂 忠² 渋谷 弥生³ 石川 治³ 岡崎 勲⁴ 稲垣 豊¹

¹東海大学医学部肝線維化研究ユニット

²ミノファーゲン製薬研究所

³群馬大学大学院医学研究科皮膚病態学

⁴国際医療福祉大学山王病院

***☆A57 骨髄移植は17型コラーゲンノックアウトマウスにおいて欠損蛋白を補充し生命予後を改善する**

○藤田 靖幸¹ 阿部 理一郎¹ 猪熊 大輔¹ 佐々木 美香子¹ 西江 渉¹ McMillan James¹

中村 秀樹¹ 清水 忠道² 澤村 大輔³ 清水 宏¹

¹北海道大学大学院医学研究科皮膚科学分野

²富山大学大学院医学薬学研究科皮膚科学講座

³弘前大学大学院医学研究科皮膚科学講座

◆ 懇親会

18：00 ～ 21：00

5月31日(土) 大ホール(大ホール棟)

◆ 一般演題

9:00 ~ 9:48

「コラーゲン2」

座長： 宿南知佐（京都大学再生医科学研究所）

- *A58 上皮細胞の管腔形成における膜型コラーゲナーゼMT1-MMPの基底膜への局在にコラーゲンシグナルは必須である

○伊藤 義文¹ Sarah Bird¹

¹インペリアルカレッジ, ケネディーリウマチ研究所

- *A59 コラーゲン分子とカーボンナノチューブの相互反応にはトリプルヘリクス構造が必須である

○久保木 芳徳¹ 寺田 典子² 北川 善政² 宇尾 基弘² 亘理 文夫²

¹北海道大学 名誉教授

²北海道大学・大学院・歯学研究科

- A60 コラーゲン・フォールディングにおけるヒステリシス

○水野 一乗¹ Jürgen Engel¹ Sergei Boudko¹ Hans Peter Bächinger¹

¹Shriners Hospital for Children

- A61 冷凍マンモスの細胞外マトリックス

○妹尾 春樹¹ 今井 克幸¹ 三浦 光隆¹ 目崎 喜弘¹ Alexei Tikhonov² 服部 俊治³ 吉川 究¹
山口 典子¹

¹秋田大学 医学部 医学科

²ロシア科学アカデミー

³ニッピバイオマトリックス研究所

◆ 休憩

9:48 ~ 10:00

◆ 特別招待講演

10:00 ~ 11:20

座長： 野水基義（東京薬科大学薬学部）

Can metalloproteinases be therapeutic targets in osteoarthritis?

Hideaki Nagase (The Kennedy Institute of Rheumatology Division, Imperial College London, London UK)

Multiple functional roles of perlecan in development and diseases

Yoshihiko Yamada (Laboratory of Cell and Developmental Biology, National Institute of Dental and Craniofacial Research, National Institutes of Health)

◆ 休憩

11:20 ~ 11:30

◆ ランチョンセミナー2

11:30 ~ 12:20

座長： 木村友厚（富山大学医学部）

「炎症性老化と結合組織」

後藤 眞（桐蔭横浜大学医用工学部臨床工学科 不老科学・加齢制御学）
（協賛：参天製薬株式会社）

◆ 総会・表彰式（合同）

12:30 ~ 13:10

◆ 大高賞受賞講演

13:10 ~ 13:50

座長： 吉岡秀克（大分大学医学部）

1. 腱・靱帯に発現する血管新生抑制因子：Tenomodulin
宿南 知佐（京都大学再生医科学研究所）
2. マウス角膜アルカリ外傷後の創傷治癒過程でのTNF α の役割
雑賀 司珠也（和歌山県立医科大学医学部眼科学）

◆ 休憩

13:50 ~ 14:00

◆ 日本結合組織学会40周年記念シンポジウム

14:00 ~ 16:00

「結合組織を巡る基礎・臨床研究の進歩と展望」

座長： 岡田保典（慶應義塾大学医学部）
西田輝夫（山口大学医学部）

MS1 コラーゲン基礎研究の進歩と展望
二宮 善文（岡山大学）

MS2 コラーゲンの臨床研究
木村 友厚（富山大学医学部整形外科）

MS3 プロテオグリカン：研究史と最近のトピックス
渡辺 秀人（愛知医科大学・分子医科学研究所）

MS4 プロテオグリカンの臨床研究
藤原 作平（大分大学医学部皮膚科）

MS5 膜型マトリックスメタロプロテアーゼによる細胞機能制御
清木 元治（東京大学医科学研究所）

MS6 癌細胞の浸潤・転移と細胞外マトリックス：臨床研究
岩本 幸英（九州大学大学院医学研究院整形外科）

◆ 閉会式・次期大会長挨拶

16:00